



木材などのバイオマスを、燃焼して利用し最終的に大気中に二酸化炭素として放出しても、同量の二酸化炭素を再植林などにより光合成で固定する限り、大気中の二酸化炭素濃度には影響を与えない。この性質を称してカーボンニュートラルと呼んでいる。この循環の中から化石エネルギーに依存しないエネルギーが生産されるので、その分だけ化石資源由来の二酸化炭素を削減できることになる。バイオマスが他の再生可能エネルギーと比較してユニークなのは、バイオマスが有機性(炭素質)であることで、電気や熱以外に化学品や輸送用燃料を直接製造できることにある。

アジアでのエネルギー需給を見ると、経済発展に伴いエネルギー需要量が供給量を大幅に上回っている。注目すべきはこの地域で石油の輸入量が大幅に増加していることである。石油の消費量が2003年に10億410万トンに対して、純輸入量は6億5500万トンである。アジアの石油需給の推移を見ると、石油需要が1990年では6億1800万トンから年平均3.8%で増加し、2003年には10億410万トンに達している。中国では自転車に替わって自騰或奔石胗